

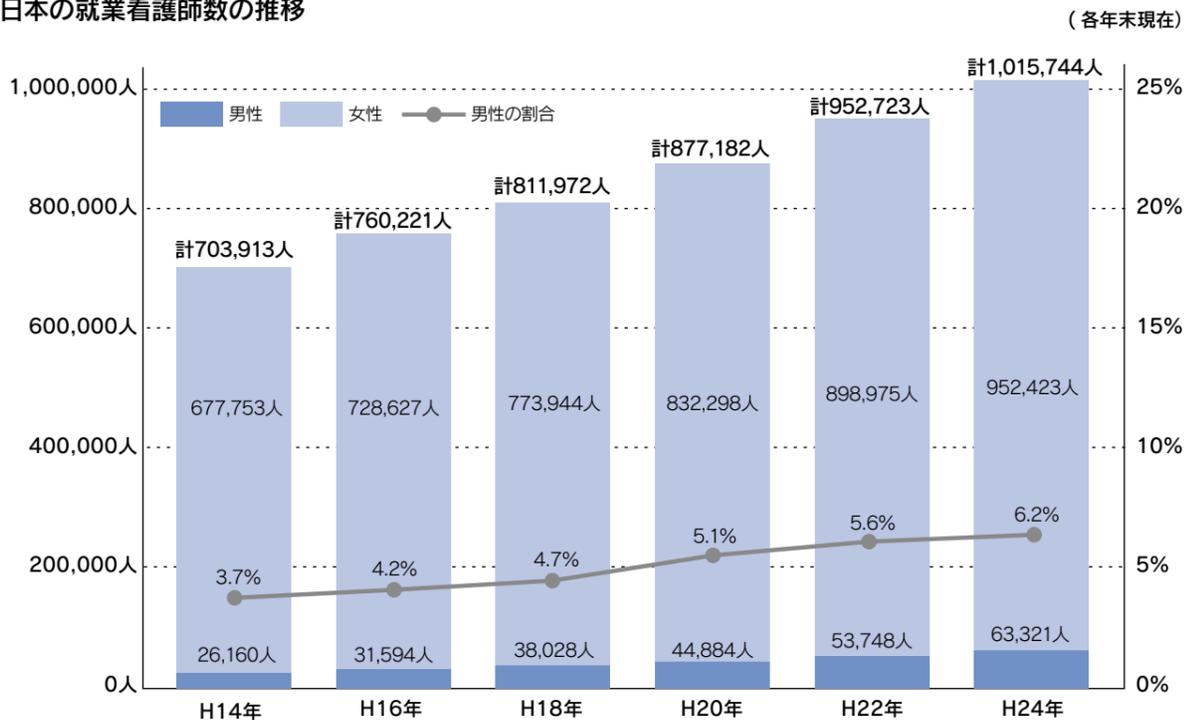
男性看護師を直撃しました！

日本における就業看護師は百万人を超え、そのうち男性看護師は約6万人。全体の6.2%を占めています。男性看護師は、主に病棟や救急の現場の勤務が多く、実際に遭遇する機会はそれほど多くはないかもしれませんが、今回、そのお一人、山形市立病院済生館で勤務10年目になる手塚拓也さんの職場（脳外科病棟）にお訪ねしてお話を伺いました。



Profile
山形市立病院済生館
手塚 拓也さん

日本の就業看護師数の推移



データ：平成24年衛生行政報告例（厚生労働省）より

Q 今、済生館に勤務されている男性看護師は何名ですか？

17名です。この4月に新規採用で3名入りました。久しぶりに後輩ができて嬉しです。

Q 看護師になろうと思ったきっかけは何ですか？

喘息の持病があり、中学に進学するまで、通院のために授業を休むことが度々ありました。そのため、優しく処置してくれる医師や看護師に接する機会が多くあり、漠然と病院で働くことに憧れていました。高校で進路を決める際、真っ先に医療系に進みたいと思いましたが、具体的には決まっていなかった。ちょうどその時期に看護婦(女性)、看護師(男性)の呼び方が男女の区別なく看護師と統一され、進路相談で担任から「看護師という選択肢もあるよ」とアドバイスをいただきました。それまでは、私自身、看護は女性の仕事というイメージがありましたが、調べていくうちに興味が湧きはじめ、看護師になろうと決意しました。

Q 「男子が優れる」といふイメージはありますか？

男性の患者さん、特に若い方からは「男の看護師さんでよかった」と言われることが多いです。清拭など男性看護師のほうが抵抗がないのかもしれない。また、男性看護師が物珍しいのか、患者さんや付き添いの方からよく声をかけていただくので、「コミュニケーションの第一歩を取る」ことができます。それと、車椅子からの移乗の介助などの力仕事です。安定した介助は、患者さんの安心感のもと、負担軽減にも繋がると感じます。

Q 仕事をこつこつとやるのやりがいはありますか？

手術をした患者さんがリハビリをがんばり、回復して元気に歩けるようになる……そんな姿を見ると自分の家族のように本当に嬉しくなります。やりがいを感じます。

Q これから目指す看護師像とは？

今、新しく入った看護師を指導して

Q 同じように男性で看護師を目指す人はいましたか？

高校卒業後、済生館高等看護学院に入りましたが、30人の入学生のうち私も含め男性は2人でした。

Q 女性が多数の職場で違和感などはありませんか？

看護師だけを見れば圧倒的に女性が多いですが、医師、リハビリや検査技師、薬剤師など男性職員も多くいるので全く違和感はありません。

Q 女性看護師の「男子が優れる」といふイメージはありますか？

細かい気遣いができることですね。患者さんの様子を見ながら臨機応変に対応します。例えば、親身な声かけや、時には強めの注意。心を汲み取る技術は、今後見習いたいと思っています。



いるところです。先輩に教えながら、自分がかつて先輩に教わったことを思い出して、初心に帰ることもあります。夜勤もあり年を重ねていけば辛くなります。夜勤もあるかもしれませんが、患者さんから信頼される看護師になれるよう頑張りたいと思います。

〈取材を終えて〉

礼儀正しいイクメン看護師・手塚さんはインタビューの後、病棟の準備室で点滴の準備や薬の仕分けなどを手際よくこなしていました。一ヶ月に八日の夜勤があるという勤務形態は慣れるまで大変だったと振り返りながら、それでも手塚さんは「この仕事が好きです」とずっと続けたいと語ります。男性看護師が増加し男女共同参画が進むことで、医療の現場における、患者さん一人ひとりの心身の状態、ニーズに合わせた適切なケアの提供が実現されるのではないのでしょうか。

(編集協力員 後藤 桂子)